

船舶事故等調査報告書

平成21年1月8日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008函第13号	
事故等名	貨物船神明丸衝突(岸壁)	
発生年月日時刻	平成20年8月5日 07時30分ごろ	
発生場所	釧路港西区第1ふ頭4号岸壁	
事故等調査の経過	調査の概要:平成20年10月8日 函館・地方事故調査官が海難報告書を精査 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
認定した事実 船種・船名・総トン数 船舶番号 船舶所有者等	A 貨物船神明丸 13,091トン 136981 栗林商船株式会社	
船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO番号) 船舶所有者等	B	
乗組員等に関する情報	A 船長 二級海技士(航海)	
	B	
	C	
負傷者	A 負傷者 なし	
	B	
損傷	A 左舷側外板擦過傷	
	B	
事故等の経過	神明丸は、苫小牧港西区を発し、釧路港西区第1ふ頭4号岸壁に左舷付け接岸したところ、平成20年8月5日07時30分ごろ、南寄りのうねりの影響で船体が岸壁に接触した。なお、通常航行に支障なし。	
事実を認定した理由	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	あり あり なし うねりの影響有り、強行接岸、ホーサーの張り合わせが不均衡
原因	本件岸壁衝突は、次のことが関与した可能性があるものと考えられる。 うねりの影響を受けやすい南側岸壁に接岸する際、気象・海象状況を知りつつ、うねりが収まるのを待つことなく、少々の岸壁接触を覚悟の上で強行接岸したこと。	